

第2回「これからの神戸の学校教育に関する有識者会議」資料

第4期 神戸市教育振興基本計画について

2023.12 神戸市教育委員会

(1) 第1回会議の振り返り

(2) 協議事項

- ① (仮称)教育ビジョンについて
- ② 基本政策について

(1) 第1回会議の振り返り

(2) 協議事項

- ① (仮称)教育ビジョンについて
- ② 基本政策について

第1回会議の振り返り（策定の方向性）

○策定の方向性について

- ・ 計画を学校現場など教育関係者に配布するだけでなく、保護者などにも発信していくのであれば、簡素化・重点化をすべきである。
- ・ 第3期の基本計画の冊子は詳しすぎるため、今回の策定の方向性に賛成である。言葉はできるだけ短く、インパクトがあるものがよい。
- ・ 重点化する際に十分に検討は必要であるが、簡素化・重点化の方向性は支持する。

第1回会議の振り返り（(仮称)教育ビジョン）

○(仮)教育ビジョンについて

- ・ 5年間の期間限定だとしても、校是と同じく、ビジョンが立ち戻る原点として有効なものになるとよい。
- ・ ビジョンは学校に関わる人、皆が共有する価値である。学校が、一人ひとりの個性が大切にされる場、個性が伸ばされる場となればよい。
- ・ 教育振興基本計画の指針となるビジョンという位置づけなので、基本政策を分かりやすくするようなワードがよい。
- ・ 保護者や現場の教員に、ある種、強制させるようなものではなく、様々な関係者がそれぞれの立場で聞いて納得できる、バランスの取れたフレーズであることが大事である。
- ・ 「お互いを尊重する」「認め合う」といったキーワードが大切。「違いを認め合う」ということを軸にして考えればよいのではないか。

第1回会議の振り返り（基本政策）

○基本政策について

- ・ 5つの基本政策の柱には、第3期の重点事業もほぼ包含している。文言は検討する必要があるが、全体としてはよい。
- ・ 第3期の14の重点事業には承継すべきものもある。14項目が並んでいた方が分かりやすい。
- ・ 重点事業について、基本政策の下の主要施策に盛り込まれていくのであれば問題ないのではないか。
- ・ 基本政策→主要施策と階層性を持たせたうえで、どのように見せていくのかということが重要。分かりやすい施策体系としていただきたい。
- ・ 「これからの学び」「一人ひとりきめ細かな支援」を中心に、5つの基本政策をビジュアル化するとよい。

第1回会議の振り返り（主要施策(例)、参考指標）

○主要施策(例)について

- ・自己肯定感の改善については施策に盛り込むべき。神戸で先進的な取り組みを行っていただきたい。
- ・教職員の働き方改革については、管理職の役割が非常に重要となる。
そのことも含めて管理職の資質向上に関する施策を盛り込んでほしい。
- ・5つの基本政策の柱には、第3期の重点事業もほぼ包含している。文言は検討する必要があるが、全体としてはよい。

○参考指標について

- ・参考指標について、やり方を間違えると評価を見誤りかねないので、データの取り方に留意する必要がある。例えば、全国学力・学習状況調査などの結果がよい結果になるよう、児童生徒に強要してはいけない。
- ・全国学力・学習状況調査は重要であるが、具体的項目を記載せず、教育委員会の中で共有するだけでもよい。

(1) 第1回会議の振り返り

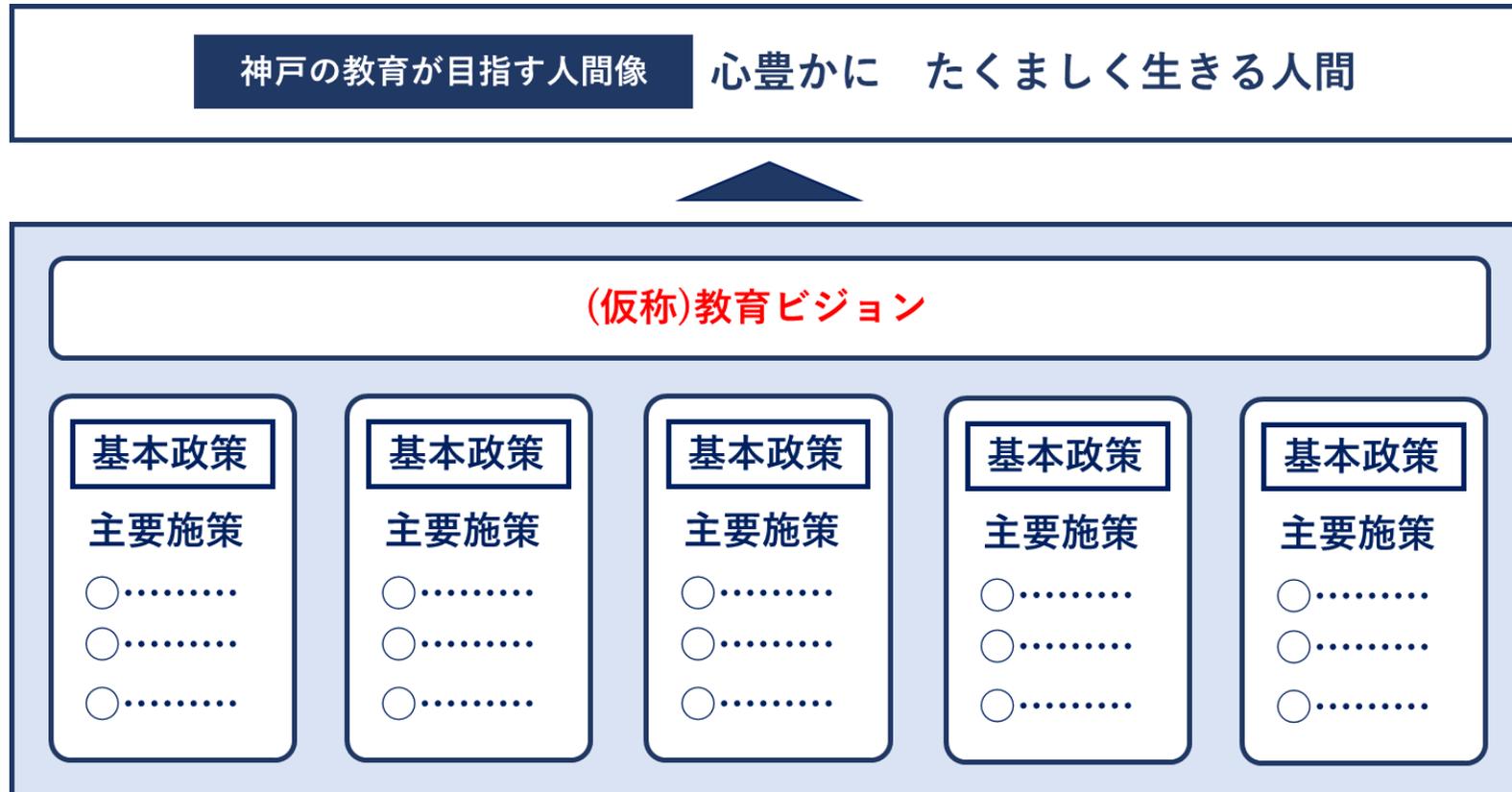
(2) 協議事項

① (仮称)教育ビジョンについて

② 基本政策について

計画の構成（案）

○(仮称)教育ビジョン 今後5年間、神戸の子供たちにどのような教育を行っていくのかを示し、学校関係者や保護者をはじめ、市民の皆様と共有するもの



(仮称)教育ビジョン

<CONCEPT 私たちの思い>

多様な仲間とつながり、支え合い、意見を出し合い、
自律心や社会性、協調性を育むとともに、
自ら学び、考え、未来をつくる、
正解のない、新しい時代を生き抜くための力を育成する。

<(仮称)教育ビジョン案>

- 案1 自他を大切にし 自ら考え 未来をつくる
- 案2 みんなで支え合い 自ら未来をつくる
- 案3 自律と協調を育み ともに明日を生きる
- 案4 いっしょに探す 自分でみつける

(仮称)教育ビジョン (頻出ワード ※)

change たくましい kobe
描く 子供 はばたける
変える 輝く 生き抜く
出す
相互理解
楽しい
自立 あふれる 創造 自ら 挑む 社会 想像力
生きる 学ぶ 切り 育成 未来 challenge
creative 創る be 拓く 夢 神戸 見つめる
chance 未来を つながり 作る
寛容 創り出す っ子 育む 築く つながる 動く しなやか
player 認める 個性 自他 design
サステイナブル

※(仮称)教育ビジョンの策定にあたり、
教職員より募集したキーワードの頻出ワードを抽出

(仮称)教育ビジョン (他都市事例)

<さいたま市> 基本理念

人生100年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進

<千葉市> 教育目標

自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ

<新潟市> 中心的な考え方のテーマ

これからの社会をたくましく生き抜く力の育成

<浜松市>

未来創造への人づくり 市民協働による人づくり

(仮称)教育ビジョン (他都市事例)

<堺市> 教育理念

ひとづくり・まなび・ゆめ

<兵庫県> 重点テーマ

『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力の育成

<加賀市 スローガン>

Be the Player / 自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える

<戸田市 キャッチフレーズ>

とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を

(1) 第1回会議の振り返り

(2) 協議事項

① (仮称)教育ビジョンについて

② 基本政策について

基本政策（施策の基本方針）

○現計画において14ある重点事業を、大きく5つ程度の基本政策に

第4期神戸市教育振興基本計画 基本政策(案)

- ① **子供が主役の新しい時代の学び**
(新しい時代の学びを実現する学校教育関連)
- ② **安全・安心で過ごしやすい環境づくり**
(学びを支える環境整備関連)
- ③ **一人一人に応じたきめ細かな支援**
(個々の児童生徒に応じたきめ細かな支援関連)
- ④ **子供に向き合い寄り添う質の高い教育**
(学校支援と組織力向上関連)
- ⑤ **地域とともにつくる開かれた学校**
(開かれた学校づくりと外部との連携、社会教育推進関連)

【参考】第3期神戸市教育振興基本計画の重点事業

- ① 確かな学力の育成
- ② 豊かな心の育成
- ③ 健やかな体の育成
- ④ 一人一人に応じたきめ細かな教育・支援の充実
- ⑤ 人格形成の基礎となる幼児教育の質の向上
- ⑥ 特色ある高校教育・高専教育の推進
- ⑦ 神戸の国際教育・防災教育のさらなる推進
- ⑧ いじめを許さず生き生きと過ごせる学校生活の実現
- ⑨ 教職員の資質・能力の向上と学校の組織力強化
- ⑩ 教育の質を高める教職員の働き方改革の推進
- ⑪ 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備
- ⑫ ICTの基盤整備と利活用の促進
- ⑬ 地域と学校との協働による社会に開かれた教育の実現
- ⑭ 地域に活かし・つながる社会教育の充実

※カッコ内は第1回会議時の案

主要施策(例)

① 子供が主役の新しい時代の学び

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現
- ・ ICTの積極的な利活用
- ・ 幼児教育の充実と幼保小の円滑な学びの接続
- ・ 豊かな心の育成
- ・ 子どもの読書活動の推進
- ・ 国際都市にふさわしい英語教育の推進
- ・ 教育データの利活用に向けた研究
- ・ 全日制高校の特色化と定時制教育の充実
- ・ 健やかな体の育成

② 安全・安心で過ごしやすい環境づくり

- ・ 行きたくなる学校づくり
- ・ 不登校児童生徒への支援
- ・ いじめ防止対策の推進
- ・ 学校規模の適正化
- ・ 安全・安心な学校環境整備
- ・ ICT学習環境の充実
- ・ 温かくおいしい中学校給食の提供

主要施策(例)

③ 一人一人に応じたきめ細かな支援

- ・ 不登校児童生徒への支援（再掲）
- ・ いじめ防止対策の推進（再掲）
- ・ 特別支援教育の推進
- ・ 外国人児童生徒等に対する日本語指導の充実
- ・ 児童生徒・保護者からの教育相談機会の拡充

④ 子供に向き合い寄り添う質の高い教育

- ・ 働き方の改革の推進
- ・ 教員の計画的採用と育成
- ・ 教職員の資質向上
- ・ 教員一人一人の着実なキャリア形成
- ・ スクールカウンセラー等の専門人材の活用
- ・ 教科担任制の充実や学年（チーム）担任制の推進

⑤ 地域とともにつくる開かれた学校

- ・ コミュニティ・スクールの推進
- ・ 中学校部活動の地域連携、地域移行
- ・ 学校施設の更なる活用
- ・ 学校を支援する人材の育成と活用

参 考 資 料

【参考】教育振興基本計画（国）

○教育振興基本計画の考え方

- ・教育基本法の理念・目的・目標の実現は「不易」
- ・不易を普遍的な使命としつつ、社会や時代の「流行」の中で、教育の羅針盤となるもの

○計画のコンセプト（総括的な基本方針）

2040年以降の社会を見据えた
持続可能な社会の創り手の育成

日本社会に根差した
ウェルビーイング（※）の向上

○5つの基本的な方針

- ・グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ・誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ・地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ・教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ・計画の実効性確保のための基盤整備・対話

※ウェルビーイング
身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、
短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など
将来にわたる持続的な幸福を含むもの

【参考】神戸市教育大綱

○教育大綱

- ・ 市長が定める教育の目標や根本的な方針

○7つの方針

1. 学力の向上に取り組めます。
2. 教員の資質向上を図ります。
3. 学校の組織力を強化します。
4. 教員の多忙化対策に取り組めます。
5. 学習の機会均等を確保します。
6. 子供たちが健やかに育つ環境を整備します。
7. 教育に関する科学的な調査研究を進めます。

「神戸の子供たちは、神戸の教育を受けて成長していく中で生きる力を身に付け、将来への夢を育んでほしい。」

私はこう願います。

そのためには、家庭はもちろん、学校、地域、行政が一体となって子供の成長を支えていくことが期待されます。

とりわけ学校教育においては、学校現場における教員の役割が大切です。子供たちは、日々身近に接する教員の影響を大きく受けて成長していくからです。

子供たちが夢や希望をもち、健やかに成長するためには、教員自身が「夢をもった子供たちを育てる」という強い信念や情熱をもち、生き生きとした姿で子供たちの前に立つことが求められます。そのような教員を育て、支えることは、教育行政の大きな使命です。

また、近年、経済的格差の拡大が指摘されますが、子供たちが保護者の経済状況にかかわらず、等しく学ぶ機会を確保されるような環境を整えていかなければなりません。すべての子供に、豊かな心、確かな学力、健やかな体が身に付くような施策を講じる必要があります。

教育の大綱は、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について定めるとされていますが、今回定める神戸市教育大綱においては、とりわけ市民の関心が高い小中学校を中心とした学校教育に焦点を絞って定め、今後、ほかの分野にも広げていくこととします。

また、教育行政は他の行政分野と密接に関連することから、教育委員会と市長部局が今まで以上に連携を強める必要があり、神戸市教育大綱はすべての執行機関の事務を対象とします。

現在、神戸の教育は、第2期神戸市教育振興基本計画に基づいた取組を行っています。神戸市教育大綱では、引き続き「人は人によって人になる」という教育理念のもと、同計画では具体的に明らかにされていない事項や特に課題のある事項について、7つの方針を定めます。

神戸の子供たちの健全な育成を目指すとともに、神戸が教育の分野においても全国から「選ばれるまち」となるように取り組んでいきます。

神戸市長 久元 喜造



「心豊かに たくましく生きる人間」

1. 知・徳・体にわたる生きる力を身に付け、自ら学び、考え、行動する
2. 互いの人権を尊重し、多様な人々と共に生きる
3. よりよい社会を築く一員となるための資質と自覚を高める
4. 夢や志をもち、自ら目標を定め挑戦する
5. 豊かな国際性を身に付け、地域や国際社会の持続的な発展に貢献する

神戸の学校づくりの指針

神戸が目指すこれからの学校の姿

「人がつながり ともに創る みんなの学校」

子供たちの生きる力を育むのは、人と人とのつながり。
学校、保護者、地域の皆さんのつながりの輪の中で、
地域とともに創る学校を実現し、未来の担い手となる神戸っ子を育みます。

1 育てたい子供の姿を共有します

育てたい子供の姿を保護者、地域の皆さんと共有し、連帯感を持って子供たちの学びと成長を支えます。

2 親しみやすい学校をつくります

地域がつながる場として、みんなが訪れたいくなる、親しみやすい学校環境をつくります。

3 子供を育む活動とともに進めます

保護者、地域の皆さんとの関わり合いと連携を深め、育てたい子供の姿の実現に向けて、ともに活動を進めます。

【参考】第3期神戸市教育振興基本計画

基本政策 1

心豊かに たくましく生きる 神戸の子供を育む

1 確かな学力の育成

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進、個に応じた指導の充実

2 豊かな心の育成

- ・自他の命を大切にす教育の推進

3 健やかな体の育成

- ・児童生徒の体力向上

4 一人一人に応じたきめ細かな教育・支援の充実

- ・教育と福祉の連携による幼児・児童生徒への支援の充実

5 人格形成の基礎となる幼児教育の質の向上

- ・幼稚園教育要領に基づく教育の充実、公私幼保の質の向上に寄与する研究・発信

6 特色ある高校教育・高専教育の推進

- ・全日制高校における魅力・特色づくりの推進、役割の多様化に応じた定時制教育の充実、時代の変化に対応した高専の教育内容の充実

7 神戸の国際教育・防災教育のさらなる推進

- ・国際都市神戸としての英語教育の推進、生きる力を育む神戸の防災教育の推進

基本政策 2

安全・安心で楽しい学校を築き、地域と共に子供を支える

8 いじめを許さず生き生きと過ごせる学校生活の実現

- ・いじめ対応に関する知識・技能の向上とチーム対応の推進
専門スタッフの体制強化と重大事態等への適切な対応の推進

9 教職員の資質・能力の向上と学校の組織力の強化

- ・学校の組織力強化や学校への指導・支援の充実
高い倫理観と規範意識のある教員の育成、コンプライアンス意識の醸成された職場環境の構築

10 教育の質を高める教職員の働き方改革の推進

- ・学校業務の適正化の推進、教職員の事務負担等の軽減

11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

- ・学校の適正規模化、学級増対策の推進、学校園施設の機能向上

12 ICTの基盤整備と利活用の促進

- ・「超スマート社会」の到来を見据えた学校のICT学習環境整備の促進

13 地域と学校との協働による社会に開かれた教育の実現

- ・地域に開かれた学校運営の推進、学校を支援する人材の育成・教員志望者の育成

14 地域に活かし・つなげる社会教育の充実

- ・生涯の「学ぶ」機会の充実、地域に還元する「活かす」学習活動の支援

【参考】第3期神戸市教育振興基本計画の進捗状況

○成果指標の進捗状況

- ・「概ね想定どおり進捗している」項目：14指標、「進捗上、課題が見える」項目：15指標

○主な課題

<学力・健やかな体の育成>

- ・全国学力・学習状況調査において、中学校の国語を除き、いずれの教科も正答率が全国平均を上回る一方、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、一層の授業改善を進める必要がある。
- ・「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合が全国平均を下回っている。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、改善傾向が見られるものの、全国平均を下回っている。

<特別支援教育の推進>

- ・「個別の指導計画」、「ネットワークプラン」等の資料の引継ぎが不十分である。

<働き方改革の推進>

- ・主幹教諭やスクールサポートスタッフの配置は目標どおり進んだものの、勤務時間外在校時間については令和2年度から減っておらず、教職員の多忙感についても令和2年度と同水準に留まっている。

<授業にICTを活用して指導する能力があると考える教員の割合>

- ・全国平均を下回るとともに、教員間の格差が大きい。